

元町の街づくりボランティア活動を応援します 元町サポーターズ

元町クラフトマンシップ・ストリートは、元町の街づくりボランティア団体「元町サポーターズ」の設立支援を計画しています。

この計画は、元町を愛する近隣住民の方々に、元町の街づくり活動にボランティアで参加していただき、また、その「元町サポーター」同志のボランティアのやりとりを通じて、元町を核とした新しいコミュニティの輪を広げていくことを目的としています。街づくり活動に応じて地域通貨を発行し、ボランティアのやりとりにこれを活用して頂くことも考えています。

この計画は、元町のよりよい街づくりのために「人と人とのつながり」を大切に育てていきたい、という元町CSの街づくりの考え方に基づくものです。また、そんな意欲的な「元町サポーター」に、元町CSとしても組合員店舗を通じて地域通貨による還元ができないか、と考えています。

そんな「元町サポーターズ」の設立計画について、本年10月開催予定のフードフェアのボランティアの方々に広くご意見を伺いたいと思います。「ご馳走を味わう楽しみ」から「参加する楽しみ」へ。フードフェアのボランティア参加ご希望の方は下記の事務局までお問い合わせください。

また、元町CSでは「元町サポーターズ」設立委員会を設立し、皆様のご意見を集約するために、ホームページを立ち上げる予定です。

フードフェアボランティア事務局

TEL.045-681-3945

(月～金 10:00～18:00)



元町ハロウィン2011
10月30日(日)



編集後記

●トリエンナーレを観て思うこと「伝統を逆のばれば、はじまりはいつも改革」(石動) ●この夏良かった事。かなり強引に暑さボケを主張出来た事。(大槻) ●このところ、毎日猛暑に見舞われて電気の使用量が心配な勝利まであと1アウトとところ破れベスト8に進めなかった横浜高校。あちらこちらで花火大会が中止のなか臨港パーク花火大会が行われます。今年の夏イベントも終わり、でも夏休みの宿題がありました。(加藤) ●暑い夏ももう少し! 早く思う存分ゴルフがしたい今日この頃です。(前田) ●初参加! 学生時代に過ごした大好きなモトマチ!! 少しでもお手伝い出来ますように!!! (田村) ●この秋の目標。フードフェアまであと5キロ、体重を落とす。(玉川) ●仲條正義が言っていた「みんながやらないことをやってみよう」ぜひやってみよう。(陳) ●観光で散歩するのと、生活の一部として散歩するのとで、街の見た方がまるで変わる。引越して実感したのは、そのこと。(栗原)

フードフェアは10月15日(土)・16日(日)開催です。

横浜のあちらこちらで美味しい「食イベント」が集中する季節が近づいてきました。

もうすっかり、秋の夜の風物詩として定着したフードフェア。今年はどんな美味しさに出会える事でしょう。



① フードフェアって何?

元町の仲通を中心とした「飲食」の専門店が中心で開催するイベント。一流料理人たちによる本物の味が低価格で楽しめる2日間です。(開催は夜のみで18:15~21:30です)

② チケットはどこで買えるの?

現金は使用出来ませんので必ずチケットをお買い求め下さい。前売りチケットは100円×10枚で1シート。900円で販売するので100円お得です。表示のあるお店で購入出来ます。当日券は18時以降は100円単位で購入出来ますから、買いたいメニューを選んでからチケットを買う事もできます。

③ スイカで買う?

スイカの看板が出ているチケット売場(本部斜め前)では、当日、一番早くチケットが売られ出されます。少しでも早い時間

からお目当てのお店に並びたい人は、スイカ購入が便利です。(3時より前売り開始)

④ いくら位、チケットを買えばいいかしら?

メニューは1品あたり100円~1,000円とまちまち。とりあえずは1人1,000円ぐらいを目安にシート買いついて、そのあとは、その都度細かく買い足すという方が多いようです。また、残ったチケットは換金できません。本部の寄付BOXに入れていただいた分は、山手愛児院さんへ寄付させていただいています。(2010年度寄付実績20,000円)

⑤ かなり並ぶという噂ですが?

販売開始の1時間以上前から行列して整理券が出るお店もありますが、ほとんどは少し並ぶ程度と思って下さい。特に、

穴場は坂のほう。人ごみも避けられてゆっくりお料理も選べます。もちろん、どこにいてもハズレなしなもの元町ならでは。

⑥ トイレはどうしたらいいの?

パンフレットのトイレ表示のあるお店(入口にも表示があります)に気軽にはいってご利用下さい。通常営業をしているお店でも大丈夫です。

⑦ 飲む愉しみと聴く愉しみ

生ビールはもちろんワインや日本酒もたっぷり用意しています。(もちろんチケットで買えます)星空の下で、フェリス女学院大学音楽学部学生によるジャズやボサノバなどお好みの音楽にありお酒を探すのも楽しそうです。

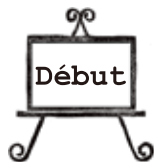
⑧ 思いのほか冷える?

急に涼しくなってくる季節です。日中、あたたかなくても夜になって急に気温が下がる事も多いようです。屋外で長時間、飲んだり食べたりしていると意外と冷えてきます。風邪をひいたりしないよう、防寒対策もお忘れなく。

⑨ 達人はMY箸で?

割り箸や、使い捨てフォークなどはもちろん豊富にご用意していますが、達人はMY箸を持ってるのが、イマドキ流。MY箸を見せて割り箸いりませんのひと言で、オマケがあるお店もあるかも?





クラフトマンシップ・ストリートの

new face



馬場洋子さん

カナダの フレーバーコーヒーを!

Little Coco(リトルココ)
TEL.080-6552-5111 / 月曜日定休

●お店に一步踏み込むと、ワクワクするくらいスイートアロマな空間でした。目を瞑って見たなら、きっとお菓子の家が浮かんできそうです。●LittleCocoはフレーバーコーヒーの専門店、いわゆる普通のコーヒーはメニューに無いという徹底ぶり。ヘーゼルナッツやチョコレートなどの様々なシロップを絶妙な配合で組み合わせ、焙煎した豆にコーティングするというこだわりです。●オーナーの馬場さんは「とにかくカナダのフレーバーコーヒーが好きで、皆さんにも知ってもらいたかったんです!」とイキイキと意気込みを語ってくれました。●実は馬場さん、お洋服屋さんのオーナーでもあって、そちらでお客様にお出ししていたサービスのコーヒーが評判になり、LittleCocoの開店へつながったとのこと。「自分の好きな物を提供したい!」というだけなのですが、本当に色々な方に助けられている感じです。」好きなものを追求していく馬場さんのお姿を拝見していると、応

援するお客様の気持ちがかかるような気がします。●フレーバーコーヒーと共に味わって欲しいのは、素朴な焼き菓子。シンプルでありながら、こだわった材料がもたらす美味しさはコーヒーの味を更に引き立ててくれること間違いなし!馬場さんのご友人小林悦巳さんが心をこめて焼き上げてくれているそうです。



いつまでも素敵な 子供心を忘れない

Avanti(アヴァンティ)
TEL.513-3887
無休・日曜日は予約のみ

●1つ目の窓からアンティークドール、2つ目の窓からはバルーンが見えてくるという、ちょっと不思議感のあるお店。●シックで落ち着いたものと、キラキラと浮遊するものが、ミスマッチのようでありながらAvantiの同じ空間にしっかりと同居していました。●アンティークとバルーンという、まるで違うイメージの商品を扱うことにしたのは何故?という質問に「どちらも大人の中にある子供心をくすぐるものだから」



と店長の安田さん。以前お花屋さん勤めをしていたそうで、バルーンとの出会いはその時から。●バルーンは何処にあって人も惹きつけるパワーがあり、大人でもついつい目を奪われる存在。長い歳月を経てその風貌があるアンティークは、それを前にした大人の何かしらの感傷を呼び起こす存在。●2つの魅力を語る安田さんの表情が、いつの間にか子供が熱中する喜びにも似ているようで、言葉に実感がありました。●アンティークドールの買付を主に担当するという山岸さんは『うちのお店に来る人形は可愛いだけでなく、ちょっと個性的な人形が多いです。』●ドールをはじめ照明や飾り棚など、お店に展示しているアンティーク達は全て商品。バルーンはお店での小売りはもちろん、パーティ会場などの飾り付け相談にもって頂けるとのことでした。

Little C



岡本のおよさん
周作くん(左)&謙信くん(右)

可愛い服の宝庫

ア・パイレート・シップ

TEL.479-6008/月・水曜日定休

●お得感のある洋服屋さんがかウチキパンの裏手にあります。●ゆるやかなBGMの流れる明るい店内のア・パイレート・シップには、着る人を選ばないナチュラルテイストの可愛い服がたくさん並んでいました。しかも気になる値札はプチプライス女性としては思わず頬が緩んでしまいます。●店長の岡本さんにお話しを伺ってみると「メーカー直販だからこそできる卸値プライス。お客様には、好きなお洋服をたくさん買って頂きたくて…」訪れるお客様にリラックスしてもらえるようなお店づくりを心がけているそうです。●岡本さんは2人の

男の子の母親でもあって、だからこそ自分と同世代の人達にも、もっと気軽に洒落を楽しんでもらいたいと思ってるそう。そんな思いが店のやさしい雰囲気にもあらわれて、今時の流行もどんどん取り入れてみようという気にさせてくれます。●そういえば、店名が示すのは『海賊船』。宝箱を開く、あのドキメキ感を意図しているのでしょうか。●そうそう、こちらのお店では子供店長もいるそうで、それはもちろん2人の息子さん。お母さんを支えて時折お店番などの手伝いをすることも。仲の良い家族像もうかがえました。



山浦さよりさん

世界で1つだけのウェディングドレスを

Jellish(ジェリッシュ)

TEL.264-4842/月曜日定休

●汐汲坂を上っていく、その中ほどにある隠れ家サロンのような雰囲気。Jellishは、結婚というセレモニーを控えた女性の多くがウェディングドレスに託するであろう想いを受けとめて、形にしてくれる場所。●これまで一貫してウェディング業界に身を置いてきたという店長の山浦さん。様々な面からのアドバイスができるからこそ、まずはお客様との対話を大切にしているそうです。『お客様の好みはもちろんですが、式場の雰囲気や招待客の割合などを伺って、ドレスデザインのアドバイスをさせていただくこともあります。』●花嫁さんの気持ちに寄り添うように世界で一

つだけのオーダードレスを作り上げていきたい。そのためにドレス製作においても人任せにせず、全行程を自らの手で行うとのこと。『サイズ調整でも、ドレスラインを考えて1からやり直すことも。大変ではあるけれど、やはり好きなことなので楽しいです。』という山浦さんは、内に熱い情熱を秘めているとお見受けしました。●その親身な姿勢が伝わるのでしょうか。お客様から挙式写真が届いたりすることも多く、中には結婚記念日のたびに挨拶されにくるカップルもいるとか。山浦さんの作り出すドレスは、幸せな結婚への一歩となっているのかもかもしれません。

Jellish



汐汲坂

元町
厳島神社



本
校
通
り

Little Coco

4丁目

5丁目

石川町駅
→

西の橋

わたしのCS
クラフトマンシップ・
ストリート

多賀谷 幸子さん
KINGDOM勤務
元町歴 8ヶ月



原宿から元町に職場を移して、この街の落ち着きとお客様のあたたかさを痛切に感じています。やる気にさせてくれる街ですね。そんな頑張った自分へのご褒美は霧笛楼のケーキです。